

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	特別企画「信州ゆかりの現代作家」展
事業主体 (連絡先)	アートミュージアム・まど (中野市中央二丁目2番2号)
事業区分	(3) 教育・文化の振興
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	797,968円 (うち支援金: 598,000円)

事業内容

- 当館の特別企画展では、県在住作家または出身者で、現在中央画壇で活躍され、信州においては指導者として活発に創作活動を行っている5名の作家の作品、大作(100号)を含め21点、小品15点の質の高い現代絵画に直に触れ、鑑賞していただきました。
- ギャラリートークは5人の作家に自作についての想い、造形作業の方法、現代絵画観など説明していただき、続いて山本文彦先生(日本藝術院会員・筑波大学名誉教授)による現代の作品に至る軌跡、視点と造詣の深いお話を聞くことができました。
- 高校美術部員の作品合評会は、北信の各高校美術部員27名先生5名、一般9名の参加により、中野陣屋県庁記念館2階において5名の作家のご協力を得て実施し、生徒が持ち寄った作品1点ずつをアドバイスとご指導をしていただき、生徒の活発な質問もあり、有意義な会になりました。



高校美術部員作品合評会



ギャラリートーク 6月10日

事業効果

- 特別企画展ということで、予定入館数(500名)を達成することができた。
- 質の高い大作を含め36点を展覧することにより、今後の創作活動のあり方、また作品から力強いパワーを感じ、日常生活のエネルギーとして受け止めることができた。
- ギャラリートークは、著名な山本文彦先生の出席を得て、質問のやりとりも活発にあり、ほかの先生方との交流も生まれ、深い創造の世界観を知ることができた。
- 5名の作家のご協力のもと、高校美術部員の多くの参加を得て作品合評会を実施することができた。この若い人たちの力が、今後の地域の文化活動を担ってくれることを信じ、期待したい。

自己評価(事業実施率) 【 A 】

【目標・ねらい】

- ①現代絵画の一断面に直に触れていただく。
- ②作家に発表の場を提供し、交流を図る。
- ③高校美術部員の合評会の実施と、幅広く文化的ネットワークが生れる。

自己評価(目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

- 今後もこの地域での文化的イベントに場を提供し、積極的に地域文化活動に努めてまいります。
- 初めての高校美術部員の合評会の成功にあたり、今後、各高校美術部と交流を図り、生徒作品展開催に繋げ、この場を提供したいと考えております。
- 美術教師からも、このような会を継続して欲しいとの指摘があり、今後検討していきたい。